



お披露目会后、改修した2階フリースペースでイベントを楽しむ親子ら

内装木質化お披露目会

12月11日

「木の温もり空間」県事業で

県の「いわての木があふれる空間づくり事業」を活用し、店内を改修した内田書店(中央通り)でお披露目会が開かれました。同事業による民間店舗の木質化は市内初。遠野産木材などを使い、物置だった2階が木の温もりあふれる空間に生まれ変わりました。同書店代表取締役の内田正彦さんは、「木の温もりの中で本に触れたり学んだり、まちの人が集まる場所にしていきたい」と展望を語りました。



統率のとれた分列行進を披露する消防団員

令和5年遠野市消防出初式

1月8日

無火災・無災害願い、団結深める

出初式は遠野市民センターで開かれ、消防団員ら388人と、消防車両27台が集結。松田克之消防団長が、「市民の安全を守るため訓練を積み、日頃から備えよう」と訓示しました。式後は、遠野駅前通りで3年ぶりに分列行進を披露。団員は、無火災・無災害を願い、団結を深めました。分列行進を見た阿部優利くん(3歳)は、「行進がかっこよかった。僕もやってみたい」と声を弾ませました。



服装点検を受ける交通指導隊の隊員

令和5年遠野市交通指導隊、防犯隊初点検式

1月9日

気持ち新たに活動スタート

交通指導隊と防犯隊の初点検式があえりあ遠野で開かれ、交通事故や犯罪のないまちを目指し、気持ちを新たにしました。指導隊(小水内秀一隊長)20人と防犯隊(菊池邦一隊長)22人が参加。両隊員は服装や手帳などの点検を受け、気を引き締めました。防犯隊の菊池隊長は、「最近では女性や子どもが事件に巻き込まれることが多い。未然に防ぐ活動を展開したい」と力強く語りました。



お小遣いの使い方を考える親子

本市初開催・親子で学ぶお金の話in遠野

1月11日

模擬体験でお金の使い方を学ぶ

親子でお金の使い方を学ぶ講座が市民センター集會室を会場に本市で初めて開催されました。参加した8組20人の親子がお金の動きが分かる「こづかいゲーム」を体験して学習。子どもたちは親の助言を受けながら、お小遣いを予算と見立て、上手なお金の使い方を考えました。小玉明咲さん(遠野北小4年)は、「貯金が大事なことを学べた。家でもこづかい帳を活用したい」と講座を振り返りました。

弓道団体競技で県制覇

第41回全国高等学校弓道選抜大会岩手県予選会 県営武道館近隣の弓道場(昨年10月21・22日)

小玉選手、糠森選手が同岩手県予選会団体競技に出場し、参加36校の頂点に立ちました。小玉選手は3人中2番手で出場。予選から4射皆中させ、会場を沸かせました。3番手の糠森選手は、1本目を外すも2本目から修正。落ち着いた行射で練習通りの力を発揮しました。小玉選手は、「目標はインターハイ優勝。1射1射を大切にしたい」と話し、糠森選手は、「練習から本番を想定して腕を磨きたい」とさらなるレベルアップを誓いました。小玉選手は同岩手県予選会個人競技にも出場し3位入賞。昨年11月26・27日に行われた東北大会では、準優勝に輝く活躍を見せています。



花巻北高弓道部
小玉 彩瑛さん
(2年、遠野中出身)Ⓔ
糠森 美湖さん
(1年、遠野中出身)

攻撃の要、全国でも存在感を示す

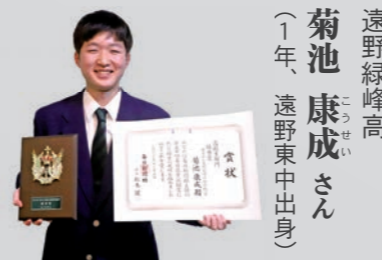
第75回全日本高校選手権(春高バレー) 東京体育館(1月4日~8日)

一関修紅高バレーボール部
中間 大翔さん
(3年、遠野東中出身)Ⓔ
横欠 飛鳥さん
(3年、遠野中出身)



一関修紅高の横欠選手、中間選手が春高バレーに出場し、チームの主力選手として活躍しました。3回戦の相手は、昨夏のインターハイで敗れた開智(和歌山)。大接戦の末ベスト16で敗退するも、両選手とも攻撃の要としてチームに貢献しました。ミドルブロッカーとして出場した横欠選手は、最高到達点320センチから繰り出すスパイクで得点を量産。中間選手はピンチサーバーとして出場し、チームの雰囲気を変えるサーブで攻撃の起点となりました。横欠選手は、「得点を決めるという強い気持ちでプレーできた」と話し、中間選手は、「得意のサーブで存在感を出せた」と笑みを浮かべました。

毎日農業記録賞 命の大切さ伝える



遠野緑峰高
菊池 康成さん
(1年、遠野東中出身)

菊池さんは食や農業、環境への思いや体験を作文で表現する記録賞で高校生部門優秀賞を受賞しました。「ジビエで地元を活性化!!!」と題し、シカ猟に同行したことと捕獲後の食肉加工作業について記録。命の大切さを訴えました。

菊池さんは、「食肉だけでなく、皮や骨など、すべて無駄にしない取り組みが必要。将来は命の大切さを伝えられるハンターになりたい」と目標を語りました。

2022 東日本デイリーショー ホルスタイン3冠



佐野 茂樹さん
(57歳、上郷町)

同共進会が昨年11月9日、岩手県中央家畜市場で開かれ、佐野さんが育てたホルスタイン種が経産4歳クラス1席となり、シニアチャンピオン、乳器最高位賞、東日本グランドチャンピオンの3冠を達成しました。審査結果は、「どの牛よりもすべてにおいて優れており、文句なし」と高評価。

佐野さんは、「愛情を持って育てた結果が出せた。遠野は1次産業がメイン。これからも魅力ある牛を育てたい」と意気込みを語りました。

令和4年度いわて農林水産躍進大会 畜産業をけん引



似田貝 淳さん
(37歳、土淵町)

似田貝さんは昨年12月22日、岩手県民会館で開かれた同大会で明日を拓く担い手賞を受賞しました。平成17年に就農し、飼育頭数を4頭から26頭に増頭。家畜人工授精師の資格も取得し、周辺農家の繁殖を手伝うなど地域貢献しています。

似田貝さんは、「今までやってきたことが評価されて嬉しい。遠野は他の地域と違って若手農家が多い。周りと協力して畜産業を盛り上げたい」と意欲を見せました。